

社団法人 神奈川県理学療法士会 2010年度第7回理事会議事録

I. 日 時：2011年2月19日（土） 15:00～18:00

II. 場 所：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事定数：15名

出席理事：秋田裕、隆島研吾、炭孝昭、林克郎、山口泰成、広瀬好郎、福島努、大槻かおる、
惣田洋、露木昭彰、佐藤史子、菅原憲一、太附広明、湯田健二

欠席理事：清水忍

出席監事：井上保、安藤徳彦

出席部長・委員長：萩原文子、相馬光一、長澤充城子、今井真紀

出席事務局員：小野田誠子

IV. 議長団選任

議長： 秋田 裕

副議長、議事録署名人は出席理事の互選にて下記のように選出された。

副議長： 隆島研吾

議事録署名人：炭孝昭、林克郎

V. 配布資料

2010年度第7回理事会議事案

2010年度第5回理事会議事録

2010年度第6回理事会議事録

2010年度第6回常任理事会議事録

包括的会員管理システムの運用が開始されます

2011年度会議等日程案

協会会員証および会費納入指定カード変更のお願い

会費未納者リスト

事務局資料

事務局事業報告（総務部報告、ニュース編集部報告、ウェブサイト管理部報告）

学術局事業報告（学術誌編集部報告、学術講習部報告、会員歴11年目以上の会員の新人教育プログラム履修に関して、新学術サークル助成の公募のお知らせ(案)、旧学術サークル助成の公募のお知らせ）

社会局事業報告（社会局起案・報告、名簿管理規定(案)、社団法人神奈川県理学療法士会共催・協賛・後援等諸規定(案)、平成23年度介護予防キャラバン会場費の支払いについて、職業講話の業務報告書、医療保険部報告、ライフサポート部報告、中途障害支援部報告、介護保険部起案・報告、スポーツ支援・健康増進部報告・起案、環境支援部報告、発達障害支援部報告、公益事業推進部起案・報告）

公益法人対策委員会報告（公益法人化スケジュール第8報、社団法人神奈川県理学療法士会定款変更資料(2011.02.19)、社団法人神奈川県理学療法士会定款細則改正案資料（2011.02.19）、第29回総会資料差し替えのお願い、公益社団法人対策委員会報告（2011.02.19））

VI. 回覧資料

なし

Ⅶ. 議事内容

- (1) 会長挨拶及び行動報告
- (2) 2010年度第5回理事会議事録の件
 - ・第5回理事会議事録が承認された。2010年度第6回理事会議事録の件
 - ・第6回理事会議事録が承認された。
- (3) 第29回通常総会の件
 - ・総会資料・定款細則・組織図の差し替え分について、2月21日週の始めに会員へ発送予定とした。
- (4) 定款改定案、定款細則改正案の件(承認)
 - ・定款改定案は1月14日に神奈川県に提出後、2月15日の返答について報告され、定款は新定款最終案、細則は改正第2案として承認された。
 - ①・新定款案について
 - ・第17条と総会の委任状についての2点を修正
 - ②定款細則改正案について
 - ・賛助会員と理事会規定の修正および追加事項の説明があった。
 - ③会員へは訂正文を送付することとなった。
- (5) 賛助会員退会の件(承認)
 - ・賛助A会員「伊藤超短波」より退会希望があり、今年度末での退会が承認された。
なお、本件は年度内は賛助会員としての扱いにすることとし、先方では広告費として事務処理するとの連絡を受けたことが説明された。加えて、今回の県学会の昼セミナーについてはそのまま行われることが合せて報告された。
 - ・賛助会員が減少しているので来年度以降のあり方について意見交換がなされた。
- (6) 来年度会議日程の件
 - ・来年度は、会議開始時刻を30分繰り下げて始めることとなり、会議費として毎回1000円支給されることとなった(15時30分～18時30分)。
 - ・2011年度会議等日程(案)について資料をもとに説明があり承認された。しかし不確定部分もあり後半は変更の可能性もあることが説明された。
 - ・2011年度第1回理事会は拡大理事会とすることが説明された。
 - ・理事会が長時間化していることに対しお茶菓子・コーヒーなどを用意することとなり、今回から実施された。
 - ・県の施設を借りる際に必要な登録カードが事務局に用意されていることの説明があり、これを利用することでインターネット上から予約できるのでその利用方法を次回理事会で説明することとした。
- (7) 日本理学療法士協会の包括的会員管理システム説明会報告(報告)

日本理学療法士協会では、会員基本情報(研修会・単位認定も含まれる)と会費納入状況の管理を一括管理するWebシステムが導入されることについて報告された。

 - ①会員はマイページより会員自身で各種手続きをすることとなり、4月1日にシステムが納品されることから順次試行され、2、3ヶ月のうちに本各始動となる予定。
 - ②クレジットカードがニコスから楽天へと変更されることとなり会員証とカードは別扱いとなるため、楽天カードに切り替わり次第、ニコスのカードは個人で解約をしてもらう必要がある。

③システム稼働に関して、今後は研修会を計画する段階で内容を明確にし、登録しておく必要がある。④本システム変更については、平成 23 年度の新人オリエンテーション時点ではまだ移行期間なのでオリエンテーションは必要であるが、実際は平成 24 年度入会者についての検討が必要である。

・日本理学療法士協会役員選挙が開催されることが報告された。

(8) 日本理学療法士協会主催の提案型管理者ワークショップへの対応 (報告)

・日本理学療法士協会介護保険部主催で行う予定の、「管理者向けの研修会」の参加ご案内については、個人対応とすることが確認された。

(9) 関東甲信越ブロック士会長会議報告 (報告)

・2月18日に甲府で開催された会議について秋田会長より報告があった。

①茨城県で開催された第 29 回関東甲信越ブロック理学療法士学参加者は 1590 人であった。

②平成 23 年度は 9 月 3 日・4 日に新潟県で開催予定、テーマは「フレッシュマン発表」とし、合わせて新潟県士会 40 周年の式典が開催される。

③平成 24 年度は、9 月 15 日・16 日に埼玉県大宮で開催予定であり、その準備状況の報告があった。

④長野県士会が、40 周年の式典を 24 年 2 月 18 日に開催予定でありまた、山梨県士会も今年 40 周年であることが報告された。

⑤来年度の事業計画のうち臨床実習指導者研修会は茨城で開催予定であるが、日程は未定である。

⑥査読者にポイントは関東甲信越ブロック理学療法士学会でも付与されるが (5 題以上)、本会会員については、第 29 回分についても対応はされている。

⑦ブロック援助金は、250 万円から 300 万円になった。

⑧全国学術大会は、第 49 回の神奈川担当の長澤学会長が今までのやり方として最後になり、第 50 回大会は協会主催で記念学会とし、第 51 回からは各専門領域での学会となる。

(10) 各局・部・委員会報告 (報告・承認)

(事務局)

① 会員異動報告・入会者の承認

前回理事会より入会 1 名、転入 11 名、転出 9 名、休会 4 名、復会 1 名、退会 6 名、県内異動 25 名であり、正会員数は 2 月 19 日現在 3,204 名であることが承認された。

②各種団体よりの依頼事項

・理学療法士卒後研修における後援依頼があり、承認された。

・第 20 回在宅医療・介護セミナーの後援および PR のお願いがあり、承認された。

・神奈川県糖尿病療養指導研究会より会議室使用申請 (4 月 8 日) があり、承認された。

・PTB より会議室使用申請 (4 月 17 日) があり、承認された。

・2011 年度第 54 回全国肢体不自由特別支援学校 PTA 連合会総会および PTA・校長会合同研究大会神奈川大会趣意書が送付され協賛依頼があったが、当初の協賛依頼に対しては常任理事会において協賛はできないとし、5,000 円の広告費として対応することとなった。

・第 23 回日本ハンドセラピィ学会学術集会開催の広報について依頼があり、承認された。

③その他

a) ニュース編集部

・2011 年 1 月号より 2012 年 9 月号までの会報巻頭言の執筆予定者を決定した、依頼者へは 2 週間前に福島理事よりメールにて確認すると報告された。

b) ウェブサイト管理部

- ・ 半身動作研究会より依頼のあった P T, O T のための古武術講座の情報掲載が承認された。
- ・ スタビリティ研究会より依頼のあったレッドコード研修会の情報掲載が承認された。
- ・ 講習会情報のウェブサイト掲載基準を見直しを行い、WEB 内のカテゴリを個人、各種団体、企業用を設けて掲載することとなった。また、掲載料についても今後検討することとなった。

c) その他

- ・ 2010 年度予算の負担金額流用について、予算 719,000 円に対し、支出が 989,660 円となり 270,660 円のマイナスとなった。この部分は事務局内予算科目で流用することについて承認された。また、現在、経理規定が未整備のため、早急な対応が必要であることが確認された。
- ・ 第 29 回総会資料原稿は集約終了後、各理事にメールで確認して頂き、1 月 25 日の事務局会議で最終調整をすることとなった。
- ・ 委任状の回収率を上げる手段として、会員所属施設へ本会の FAX 通信を利用することが報告された。
- ・ 会費未納者 168 名に対しては本会からも督促状を出すこととした。2009 年度末の会費未納者について、昨年度末は 30 名ほどであったが、今年度はダイヤモンドファクターとの契約が無くなったためか、未納者が増えたのではないかと報告された。

(社会局)

①各部事業報告

a) 社会局

- ・ 相模原市介護認定審査会委員の推薦について。
現任の自宅会員 山田忠之氏および社会保険相模原病院 佐藤みどり氏とすることが承認された。
- ・ 財団法人横須賀市健康福祉協会評議員の推薦について。
総合病院衣笠病院 鈴木三四郎氏を引き続き推薦することが承認された。
- ・ 名簿管理規定（案）について。
本規定は社会局だけでなく本会全体で考えることが必要であるため、各局でも検討していくこととなった。したがって、次回以降の審議となった（資料 P 7 は破棄）。
- ・ 社団法人神奈川県理学療法士会 共催・協賛・後援承諾規定（案）について、再度検討し、次回以降審議することとなった。
- ・ 年度をまたぐ会場使用料の処理については、今後公認会計士に対応方法を確認し、適切に処理をすることとし、今後処理方法を明確にする必要があることが確認された。
- ・ 2 月 3 日に開催された本牧中学校の進路学習の「職業講話」に会員を派遣したことの報告がされた。2011 年度の講師派遣についての依頼は、本年度と同様の「職業講話」に加え「職業体験」として、夏の理学療法見学会を紹介することが確認された。
- ・ 神奈川県医療専門職連合会第 103 回定例理事会の報告がされた。

a) 医療保険部

- ・ 2011 年度事業計画があり部員を 1 名増員するとの報告があった。

b) 会員ライフサポート部

- ・ 第 46 回日本理学療法学会でのポスター演題に、会員ライフサポート部事業の報告が採択さ

れたことが報告された。

- ・2月20日の研修会で設置した受講者支援のための保育所について報告があった。

c) 中途障害支援部

- ・職場環境調査の回収率は1月31日付で73%となった。

現在アンケートの処理作業を現在進めており、年度内に報告する予定であると報告された。

d) 介護保険部

- ・第1回訪問リハビリテーション実務者研修会を1月15、16日に開催終了した。アンケートでは非常に好評だったことが報告された。
- ・PTOT地域ケアネットワーク研究会が2月11日に終了したとの報告があった。

e) スポーツ支援・健康増進部

- ・第3回技術講習会が1月18日に終了したことの報告があった。
- ・来年度、スポーツ支援・健康増進部部員として、神奈川県リハビリテーション病院 辻融枝氏、横浜市市民病院 駒場佳代子氏を増員することが承認された。

f) 環境支援部

- ・第4回PT・OT福祉用具スキルアップ研修が平成22年11月7日、12月19日、平成23年1月30日で開催され無事終了したことの報告があった。修了者が10名にとどまり、今回の日程が継続参加できにくかったこともあり、今後日程については再対策する必要があることが報告された。

g) 発達障害支援部

- ・小児理学療法講習会が1月29日に終了したことの報告があった。

h) 公益事業推進部

- ・県士会学会の折に相談窓口を設置のする準備を行っているとの報告があった。
- ・夏の「理学療法フェスタ」内で開催する予定であった、理学療法セミナーが中止になったことの報告があった。
- ・「笑顔をあきらめないキャンペーン」が2月に先送りになり、現在計画書を提出し準備中であるとの報告があった。

(学術局)

①各部事業報告

a) 学術講習部

- ・1月13日第4回学術講習部会議が開催されたことが報告された。
- ・学術講習部で講習会ごとに撮り貯めているビデオの扱いについて、貸出等の基準を部内で検討中であることが報告された。
- ・1月16日にリーダー研修会が開催されたことが報告された。
- ・2月13日に第4回講習会が開催されたことが報告された。反省点として、公的機関の講師の場合は事前調整が必要であることが確認された。
- ・第5回学術部会議が2月17日に開催されたことが報告された。

b) 生涯学習部

- ・会員歴11年目以上の会員の新人教育プログラム履修に関して、今年度に限り18単位取得していれば修了申請可能とする措置があるので、未修了者287名に葉書で通知をすることに対して承認された。

c) 学術誌編集部

- ・「理学療法—技術と研究」の印刷費が190万円の予算に対して40万円超過の230万円になってしまったため、局内流用後、予備費を流用について承認された。
- ・反省点として、次年度は合い見積もりし、予算の見積もりも増やすこと、県学会の抄録部分については分冊とすることを検討したいとの報告があった。

d) 学術サークル助成事業

- ・学術サークル助成金公募のお知らせが承認された。主な変更点として、本会会員であること、同一の養成校卒業生のための構成員でないこと、県学会で活動報告をすることなどを新たに盛り込んだことである。

(11) その他

- ・本会並びに本会会員の声をどのように協会に反映させるかについて、本会役員と神奈川県選出の協会代議員との意見交換会を、3月6日に開催することとした。
- ・協会役員選挙は、3月6日に投票が締め切られるとの確認があった。

以 上